

2009年10月1日

厚生労働大臣 長妻 昭様

平成22年度難病対策概算要求に関する要望書

日本難病・疾病団体協議会
代表 伊藤 たてお
豊島区巣鴨 1-20-9
巣鴨ファーストビル3F
電話 03-5940-0182

この間の難病対策強化の取り組みに深く感謝を申し上げます。

とりわけ、平成21年度から実施された難治性疾患克服研究事業への7疾患の追加指定(130疾患へ拡大)、研究奨励分野への130疾患の新規指定、100億円への予算増額、また、補正予算での特定疾患治療研究事業への11疾患の追加指定(56疾患へ拡大)など、難病対策の着実な前進がみられます。

しかし、5000から7000あると言われている難病のなかで、対策がとられているのは、まだ限られた疾患のみです。引き続き来年度も、難病対策の強化が必要だと考えます。難病・慢性疾患患者のなかには、月に何万円もの医療費負担をし続けながら日常生活を送っている人たちが少なからずいます。平成22年度難病対策の概算要求にあたっては、難病・慢性疾患患者対策の強化をさらに図って頂くよう、次の項目の実現をお願いいたします。

< 要望事項 >

1. 総選挙のマニフェストで掲げられたように難病対策の強化を図ってください。
2. 難治性疾患克服研究事業は、今年度を上回る予算額を計上し、全ての難病を研究事業の対象疾患に指定してください。また、研究奨励分野は、原則1年に限定せず継続も含めて柔軟に対応してください。
3. 特定疾患治療研究事業は、今年度新たに指定される11疾患に加え、対象疾患を大幅に拡大してください。また、地方の超過負担を解消できるだけの予算を確保してください。
4. 難病相談・支援センター事業は、各自治体のセンター事業の底上げと不均衡を是正するため、二分の一の補助額の一定額を全額補助としてください。
5. 希少難病に対する新薬の開発と新薬の国内承認手続きの早期化を計るよう対策を強化してください。
6. 患者負担を軽減する観点から、高額療養費制度を見直し、負担上限額を大幅に引き下げてください。
7. すべての難病・慢性疾患患者の治療研究の促進と医療費負担軽減のために、新たな対策づくりに着手してください。

2009年10月1日

民主党難病対策推進議員連盟

会長 岡崎 トミ子 様

事務局長 谷 博之 様

平成22年度難病対策概算要求に関する要望書

日本難病・疾病団体協議会

代表 伊藤 たてお

豊島区巣鴨 1-20-9

巣鴨ファーストビル3F

電話 03-5940-0182

この間の難病対策強化の取り組みに深く感謝を申し上げます。

とりわけ、平成21年度から実施された難治性疾患克服研究事業への7疾患の追加指定(130疾患へ拡大)研究奨励分野への130疾患の新規指定、100億円への予算増額、また、補正予算での特定疾患治療研究事業への11疾患の追加指定(56疾患へ拡大)など、難病対策の着実な前進がみられます。

しかし、5000から7000あると言われている難病のなかで、対策がとられているのは、まだ限られた疾患のみです。引き続き来年度も、難病対策の強化が必要だと考えます。難病・慢性疾患患者のなかには、月に何万円もの医療費負担をし続けながら日常生活を送っている人たちが少なからずいます。平成22年度難病対策の概算要求にあたって、難病・慢性疾患患者対策の強化をさらに図って頂くよう、次の項目へのご協力をお願いいたします。

<要望事項>

1. 総選挙のマニフェストで掲げられたように難病対策の強化を図ってください。
2. 難治性疾患克服研究事業は、今年度を上回る予算額を計上し、全ての難病を研究事業の対象疾患に指定してください。また、研究奨励分野は、原則1年に限定せず継続も含めて柔軟に対応してください。
3. 特定疾患治療研究事業は、今年度新たに指定される11疾患に加え、対象疾患を大幅に拡大してください。また、地方の超過負担を解消できるだけの予算を確保してください。
4. 難病相談・支援センター事業は、各自治体のセンター事業の底上げと不均衡を是正するために、二分の一の補助額の一定額を全額補助としてください。
5. 希少難病に対する新薬の開発と新薬の国内承認手続きの早期化を計るよう対策を強化してください。
6. 患者負担を軽減する観点から、高額療養費制度を見直し、負担上限額を大幅に引き下げてください。
7. すべての難病・慢性疾患患者の治療研究の促進と医療費負担軽減のために、新たな対策づくりに着手してください。